

授業科目 高齢期障害作業療法学演習

【担当教員名】 能村 友紀	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

【概要・一般目標：GI0】

1. 高齢者に対する作業療法の対象者特性を理解する
2. 高齢者に対する作業療法介入に必要な基礎知識・技術を習得する

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 高齢者に対する作業療法の役割とプロセスを説明できる
2. 高齢期の作業療法の援助技術について説明できる。
3. 個別・集団における作業療法プログラムが立案、実施することができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢期作業療法援助	1	講義（能村）、担当：能村 友紀
2	身体活動援助法（1）	2	演習（能村）、担当：能村 友紀
3	"（2）	2	演習（能村）、担当：能村 友紀
4	作業活動（1）	2	演習（能村）、担当：能村 友紀
5	"（2）	2	演習（能村）、担当：能村 友紀
6	集団活動（1）	2	演習（能村）、担当：能村 友紀
7	"（2）	2	演習（能村）、担当：能村 友紀
8	在宅での高齢期作業療法の実際（1）	3	講義（大越満）
9	"（2）	3	講義（大越満）
10	事例演習（1）評価	3	演習（能村）、担当：能村 友紀
11	"（2）問題点抽出	3	演習（能村）、担当：能村 友紀
12	"（3）作業療法計画立案	3	演習（能村）、担当：能村 友紀
13	"（4）作業療法プログラム作成	3	演習（能村）、担当：能村 友紀
14	"（5）プログラム実施	3	演習（能村）、担当：能村 友紀
15	まとめ	1～3	講義（能村）、担当：能村 友紀

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	高齢期作業療法学 第2版	小川恵子編	医学書院	2010・3,990円
その他の資料				

【評価方法】 出席が3分の2以上で、かつ期末試験の点数が60点以上とする。	【履修上の留意点】 高齢期作業療法の援助法について実技を中心に行います。
--	---